

2015年4月16日

**『みんなの健保』でみんなへワクチン」活動における
ポリオワクチンの寄付累計が約55万人分相当に**

富士火災海上保険株式会社（代表取締役社長兼CEO 横山 隆美）は、CSR活動の一環として取り組む『みんなの健保』でみんなへワクチン」活動において、2014年度分として約7万5千人分相当のポリオワクチンを認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会(Japan Committee, Vaccines for the World’ s Children : 以下 JCV) に贈呈しました。

これにより 2007年の取組開始から累計で約55万人分のポリオワクチン相当分を JCV を通じて世界の子どもたちにお届けできたことをお知らせいたします。

当社は、「自分らしいやり方で自分に合った寄付を通じて子どもたちにワクチンを届ける」という JCV への寄付方法の1つ「僕のルール」に共感し、“世界の子どもたちが健康で安心な生活を送れるように”との思いから、当社の医療総合保険『みんなの健保2』、引受基準緩和型契約特約付医療総合保険『持病のある方も入りやすい みんなの健保3』等の新規契約の販売件数に応じてポリオワクチン相当額を寄付するというルールのもと、『みんなの健保』でみんなへワクチン」活動を 2007年より継続的に行っています。

今後も当社は『みんなの健保』でみんなへワクチン」活動を通じてポリオワクチンの重要性や活動の意義への理解拡大に一層努めてまいります。

(ご参考) -----

認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会の活動について

発展途上国へのワクチン及び予防接種関連物資の支援と、感染症の完全予防のための国内啓発活動を行っています。「僕のルール」は、和田毅投手が、2005年に「1球投げるごとに10人分のワクチンを寄付する」という「僕のルール」を宣言したことで広まった寄付のかたちです。詳細については JCV のホームページをご覧ください。 <http://www.jcv-jp.org>

ワクチンについて

ワクチンは、感染症を予防するための免疫をつくる抗原で、ポリオ（小児マヒ）などの病気の予防に有効です。多くの発展途上国では、ワクチン不足は深刻な問題で、予防接種を受けられない子どもが命を落としています。ワクチンは極めて熱に弱く、安定した環境で輸送するために、冷蔵庫などの設備を備えたコールドチェーンと呼ばれる輸送ルート作りが必要です。